



シーサイドニュース

Medical Corporation WADOKAI
Hiroshima Seaside Hospital

2016年
冬号
vol. 71

2016年を迎えて

広島市の最低気温-4度、通勤の足の乱れが問題になっています。今日も電車を降りた人が横断歩道で滑って転んでいました。本人は恥ずかしくて、笑うしかないところですが大変肉体的には痛かったと思います。年末には各スキー場に雪がなく困惑している報道がなされていましたが、今度は豪雪による被害の報道に明け暮れています。これも地球温暖化の影響による異常気象の一現象と思われますが、人間の活動が大气に影響していることは間違いないと思います。一方私の専門外ですが太陽系の変化も無視できないようです。

平成28年度予算が審議中です。32年度までに国・地方を合わせた基礎的財政収支(PB)の黒字化を目標に掲げています。私たち医療関係者にとって最も関心の高い社会保障関係費は31兆9738億円、これは一般会計歳出総額の33.1%を占めています。高齢化による社会保障の伸びの抑制、診療報酬改定、希望出生率1.8、介護離職ゼロなどに向け検討されています。公共事業

病院長 大庭 治

費6.2%、文教及び科学振興5.5%、防衛5.2%などに比較していかに社会保障関係費が高額を占めているかがわかります。4月の診療報酬改定では本体+0.49%、薬価-1.22%、材料-0.11%となりますが、持続可能な社会保障にとってはやむをえない数字かと思われます。適切な医療を安全に追及していく必要があります。

東日本大震災からもうすぐ5年が経過します。戦後復興から急激な経済成長を遂げ、物質的に豊かな生活を享受してきた日本に対しある種の啓示とも受け止め、少し緩やかな社会、絆などを大切にされた成熟した社会を求める人も当時いました。しかし、いつの間にか経済最優先の日本に帰った模様です。限りある資源を大切に大量生産、大量消費からの無駄は発生させないように努めなければなりません。

のど元過ぎれば熱さを忘れるとことわざがありますが、安全で住みやすい小さな島国の日本には金とか物質ではない心を大切にする社会が形成されるよう願っています。

訪問看護ステーション ハローナースシーサイド



我 逢 人

人と逢うことを大切に
人に逢える場を大切に
人と逢う姿を大切に

「人と逢うことから全てが始まる」私たちは出会いを通して、利用者の生活を支え地域社会に貢献していきます。

ハローナースシーサイドは…

- 看護師と療法士が連携し、医療面と身体面の両側から利用者様に適切なケアを提供します。
- 看護では、24時間対応で療養上の世話、診療の補助業務を行います。
- リハビリテーションでは、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、合わせて15名以上の専属スタッフが、様々な視点から利用者様の身体・生活・活動状況を把握できるよう同行体制をとっています。

訪問看護に携わって

向井 拓馬

私は去年の夏より訪問看護に携わっています。当初は在宅療養されている利用者様にどのようなケアができるのか戸惑う場面もたくさんありましたが、今ではご家族と協同してケアする楽しみが実感でき在宅生活を支援できることにやりがいを感じています。

病棟勤務の頃には患者様とご家族が退院に喜びを感じる反面、在宅療養への不安を拭いきれないまま退院される場面があり、病棟看護師も同じように不安を持ちながら送り出していました。現在の医療体制は地域包括ケアシステムが推進され病院から在宅への転換期にあり、今後は医療依存度の高い状態でも在宅で療養される機会が多くなると予測されます。そのなかで病棟看護師が「家に帰られても、訪問看護があるので安心してください」と声掛けできるよう病院と在宅の連携を深め、安心を引き継ぐ役割が果たせたらと考えます。

まだまだ利用者様のニーズに対し十分な対応ができていないとは言えませんが、ケアに関わることができる「ご縁」を大切に、そして、利用者様とご家族が色々な問題を抱えながらも「家で過ごせて良かった」と思えるよう支援していきたいです。

訪問看護って??

病気や障害を持って療養されている方のご自宅に看護師・療法士が訪問し、看護・リハビリを提供します。

医師・ケアマネージャーなどほかの専門職と連携をとりながら療養上のお世話や助言、医療的ケアやご家族からの相談など、看護の専門職として「安心して家で生活できるように」サポートします。

どこまできてくれるの??

広島市南区・中区全域が訪問範囲です。

広島市東区・西区・安芸区、安芸郡府中町についてはご相談ください。

来てもらうにはどうすればいいの??

訪問看護を利用するには、かかりつけ医師の指示書が必要です。

介護保険の認定を受けている方は、ケアマネージャーにご相談ください。

連絡先

TEL:082-255-1424
082-255-1464

E-mail:hello_nurse@ss.wadoukai.jp

ご家族の声

朝日を浴びながら穏やかに呼吸をし、眠っている母。自宅療養に入ってから1年半になる。母と自宅と一緒に過ごせることに家族は幸せを感じている。

24時間の自宅看護を支えてくださるのは訪看さんだ。毎朝、母はバイタルチェックを受ける。その時、気になる母の健康状態を知らせることができるので安心だ。

母が熱を出す。心をしっかり強く持とうとしても不安が広がり、心配で胸が一杯になる。訪看さんにすぐ連絡。主治医の指示を受け、対処して下さる。夜中でも不安があれば、駆け付けて診て戴ける。とても心強い。

母の状態は変わっていく。その変化にどう対応していくのか。訪看さんに学ぶことが多い。環境を整えて、患者の持てる力を引き出すというナイチンゲールの看護理論についても訪看さんから教わった。

これからも、訪看さんとの信頼関係を築き、共に母の命を見守って乗り越えていきたい。

永年勤続表彰

広島県病院協会より勤続10年の看護職員、14名に永年勤続表彰が行われ、院長より賞状と記念品が贈られました。



訪問看護 島村 結花美

私は訪問看護に携わり、今年で11年目になります。これまでたくさんのご利用者、ご家族と出会い、各々のニーズを汲み取り、より良い療養生活がおくれるように励んで参りました。一つ一つの問題に悩み考えクリアしていくことの難しさ、解決できた時の喜びを通して、人間的に大きく成長できたと思っています。今後も一期一会を大切に自分なりのベストを尽くして頑張っていきたいと思っています。

接遇研修

サービス向上委員 野島 慶則

12月9日、外部から講師をお招きし接遇研修を行いました。今年のテーマは「顧客サービス力向上とクレーム対応力の強化研修」、クレームや事故の危険を未然に防ぎ、患者様・利用者様の満足度を高める目的でした。講師の先生は、具体的な事例を挙げ説明し、時にはこちらに質問を投げかけながら進めてくださったので、受講した職員の理解も深まったと思います。

私たちはつい「自分の業務は患者様の治療や介護をすることである」と思ってしまうがちですが、治療や介護をすることによって、「満足していただく」「笑顔になっていただく」ことが大切なことを再確認しました。

今後もより良い医療サービスを提供できるように、職員の接遇向上に努めてまいります。



コラム
「医療・介護の鳥瞰」
リハビリセンター長 松田 誠

これからの医療制度

高齢者の増加で医療介護費等の社会保障費は、右肩上がり伸び続けている。さらに、少子化により日本の人口は減り続け、生産年齢人口の割合も減少する。この2つは社会保障制度そのものを破綻させる要因となりうる。今後、社会保障制度を存続させるには、医療費、介護費等の費用を抑制しながら自己負担保険料等を上げていくこと。また、それと同時に社会保障制度そのものを抜本的に見直す必要がある。今回、社会保障制度の医療制度について見直すべき施策について私見を含め述べていきたい。

今後、再生医療・DNA・新薬等の医療技術を国は海外に向けての成長戦略として発展させていくため、新技術、新薬等を早期に保険適用させていく。また、かねてから言われている高度急性期、急性期、回復期の役割機能を強化し、早期退院を促し在宅医療につなげる。

だが、上記のことは、医療費を押し上げる要因となる。医療費を抑制する必要があるため、慢性・維持期の医療費を今まで以上に抑制していかななくてはならない。これ以外にも、

- ①更なる入院日数の短縮
- ②かかりつけ医、かかりつけ薬局
カルテの一元管理、重複医療、投薬の禁止、ジェネリック薬
- ③混合診療の拡大
最低医療は保険診療で、上乗せ部分は自由診療といった混合診療の拡大
- ④重症化予防と検診
重症化させないため、また早期発見早期治療、DNA判定等の検診
- ⑤保険料、自己負担アップ
年取により負担割合のアップ、マイナンバー制で年取の把握

等が挙げられる。現行の医療制度をあらゆる角度から見直していくのは間違いない。本来医療費を抑制する理想的なものは予防・健康医学で病気にならないようにすること、DNA判定を含めた検診で、早期発見早期治療で重症化させないことが重要なこととなる。そのためにも、だれもが予防、検診を保険適用で受診できれば医療費の抑制は効果的なものとなるだろう。

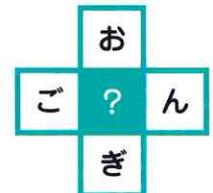
国は、社会保障制度を存続させるためにも、より抜本的な改革を示してもらいたいものである。



脳若返り

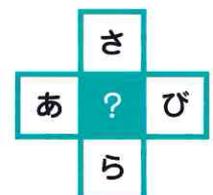
縦横のひらがなが交差する箇所と同じかな1文字を入れてください。

例

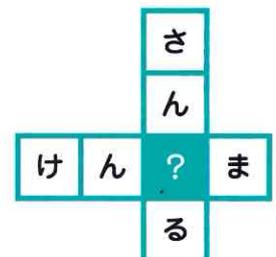


? = は

問1



問2



問3



*答えは裏表紙(頁下部)

♥ 信頼される医療・福祉をめざして…

■基本理念

◎常に患者様とご家族の立場に立って行動し、医療・保健・福祉の分野で連携充実を図り、地域のニーズに応えるよう、職員一同頑張ります。

外来案内のご案内 休診日/土・日曜日、祝祭日、盆、年末年始

●内科・リハビリテーション科・放射線科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:30 13:00~16:00	岡田	上杉	池田 沖田	山本	中村 上松瀬

●神経内科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:30	湯川	湯川		湯川	

医療法人 和同会

広島シーサイド病院

診療科目/内科・神経内科・リハビリテーション科・放射線科

療養病床330床(医療208床・介護122床)

〒734-0012 広島市南区元宇品町26-20

TEL (082) 255-1010 FAX (082) 255-6826

<http://www.ss.wadoukai.jp>

- 通所リハビリテーション(定員45名) TEL (082) 252-2781
- 訪問看護ステーション ハローナースシーサイド TEL (082) 255-1424
- ショートステイ元宇品(定員30名) TEL (082) 255-1221
- 元宇品居宅介護支援事業所 TEL (082) 255-1422
- グループホーム元宇品(定員18名) TEL (082) 255-1239
- デイサービス元宇品(定員30名) TEL (082) 255-1271

■基本方針

◎信頼され、安全性の高い医療サービスを目指すため、職員の研鑽と協調に努めます。

◎患者様、ご家族、職員がお互いに尊重し合い、ともに喜び、生きがいもてるようチーム医療を推進します。

◎地域に根ざした、住民とともに歩む病院を目指します。

◎病院の質を高め、健全経営に努めます。

◎職業を通して、社会人としての豊富な人間性を養います。

●ごあんない



- バス/広島バス21号線(宇品線)シーサイド病院入口バス停より徒歩5分
- 電車/広島電鉄宇品線元宇品電停より徒歩10分
- タクシー/広島駅より元宇品方面へ約30分

【編集後記】

インフルエンザが猛威を奮っています。

広島市保健所管内で警報の発令基準を上回り、2月3日「インフルエンザ警報」が発令されました。また、インフルエンザ疾患による学級閉鎖等は、1月末は46件、2月に入りは81件報告されており、流行が拡大しています。

こうした状況のなか、「外出時はマスク着用」を習慣にしている人も多いのではないのでしょうか?数年前までマスク着用はここまで定着はしていません。

調べてみると…マスク市場の拡大が始まったのは03年頃から。花粉症対策としてマスクを毎日使用する人が増え始め、ピークは新型インフルエンザ騒動が起こった09年。20年ほど前はガーゼタイプが主流でしたが、そ

脳の若返りの答え…問1=く、わ(どちらも正解) 問2=だ 問3=が

れに代わるように不織布のマスクが登場したことも要因のようです。

現在、電車内や人込みでの着用は、自己防衛としてだけでなく、エチケットとしてや、寒さ対策、保湿対策、ノーメイク・無精ひげを隠す…など目的は様々なようです。そして、これだけマスクを着用する人が増えても防ぐことはできないインフルエンザってつくづく厄介だなと思うのでした。

手洗い・うがいの励行、咳エチケット、適度な湿度(50~60%)の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取など、健康管理に気をつけ、感染予防対策を徹底しましょう(∩O∩)／

(編集N)